



現代を生きる

馬との一体感を持って 自然に挑む

石狩ホーストレック

オーナー

大城 康子^{さん}

10年前に横浜から当別へ移住し、ビトエ中島にある石狩ホーストレックのオーナーを務めながら乗馬の大会にも出場している大城さん。

9月22日に鹿追町で開催された耐久乗馬競技の全日本エンデュランス馬術大会では、一般競技80kmに出場し、準優勝の成績を収めました。

乗馬を通して北海道を満喫しているのですね

移住当初は、テニスやスキーをして北海道を満喫していたのですが、もっとここでしかできないことがあるのではないかと考えるようになっていきました。

そんなときに、仕事先の方が馬を飼っていて、乗せてもらえる機会がありました。北海道の大地にはこれだと思い、早速、その方に石狩ホーストレックを紹介していただき、馬にまたがって好きなところに行くことができるホーストレッキングの魅力にすっかりのめりこみました。

それからは、乗馬クラブの会員として楽しんでいたのですが、平成15年に前のオーナーがやめると言ったことがきっかけで、これだけの環境があるのにやめるのは

もったいない、こんなに楽しいところがなくなるのは寂しいと思い、石狩ホーストレックを引き継ぐと決意しました。横浜から移住するときには、まさか自分が乗馬クラブのオーナーになるとは思ってもいませんでしたね。

大会での準優勝 おめでとうございます

エンデュランス馬術大会には、平成15年から出場しています。

このレースは、自然を利用して作られたコースを人馬一体となって乗り切っていくレースなので、知識、的確な判断力、馬と人のコミュニケーションが試されるレースです。途中には、心拍数や脱水症状になっていないかなど、馬体状態をチェックする関門が設置され、馬が危険な状態と判断される

と失格になってしまいます。そのため、水辺では休ませて水を飲ませたり、下りがきつい所では、下りと一緒に走ったりと常に馬のコンディションを考えながらレースを進めました。

馬とのパートナーシップを発揮して、レースを楽しめたことが良い結果につながったと思います。

これから目指すものは

もっと多くの方に馬とふれあう機会を設け、馬と一緒に自然の中散策して楽しむホーストレッキングの魅力を伝えたいと思います。

それと、子ども向けのイベントを開催して子どもたちが馬と一緒に気軽に楽しめる機会も作っていききたいですね。



北海道と南アフリカ共和国の 交流の橋渡しを

在北海道南アフリカ共和国名誉領事

みやじ まさき
宮司 正毅さん

今年8月、スウェーデンヒルズにお住まいの宮司さん(64歳。三菱商事顧問)が、在北海道南アフリカ共和国名誉領事に就任されました。名誉領事館をご自宅に開設されたことから、泉亭町長がご自宅を訪問し、色々なお話を聞かせていただきました。

町長 名誉領事というのはどんなことをするのですか？

宮司さん 北海道と南アフリカ共和国との交流を深めるための橋渡しとを考えています。双方の交流プロジェクトを実現するための施策を提案していきたい。例えば、南アフリカ産品(ワイン・乳製品・食肉・農業製品・果物等)の北海道での販売(逆もある)、投資、観光、教育支援、共同研究等々。

町長 北海道と南アフリカの関係や今後の交流には？

宮司さん 広大な土地と自然があること、美味しい食材があること、観光資源に多様性があることで双方は似ています。また産業が少なく牧畜・農業が主体であることも共通しています。似通ったチャームポイントを持っている双方が、意見交換や共同研究を行い、交流を深めることは、夫々の発展に寄与すると考えます。ステップアップを目指して、活動を続けています。

例えば、南アフリカは、獣医師の

レベルも世界のトップクラスですから、北海道のとても良い環境を活かし、医療事業や獣医学等が共同研究できる分野ではないかと考えています。また南アフリカが、北海道の食品加工業、企業の振興策等で学ぶことがあると思いますので、交流の道筋をつけたいと考えています。

町長 南アフリカでは、どのような仕事をされておりましたか？

宮司さん 主にクロム・マンガン・石炭・鉄鉱石等の輸入業務を行い、4年半駐在しました。これらの鉱物資源は、日本産業界の根っこの部分を支えており、南アフリカは大変重要な国なんです。2回目は支店長として7年半駐在し、支店の経営・管理業務をはじめ取引の拡大を目的に政財界・学界等での人脈づくりも大切な仕事でありました。

町長 当別町にどのような印象をお持ちですか？

宮司さん 南アフリカに12

年、英国に4年半住んだ経験から、北海道がこれらの国に似ているように感じました。ロンドン駐在中に雑誌でスウェーデンヒルズの広告を見て、帰国休暇したときにここを訪れてみました。札幌大橋を渡るとのどかな田園風景が一望に広がり、ヒルズの街並みも心地よいですが、夜の闇、星・月の美しさもひと際素晴らしく、退社後の生活拠点として決めました。一目惚れでした。

町長 世界をまたにかけて、お仕事をされてきた宮司さんのお話は、とても興味深いものでした。

名誉領事として、更なるご活躍をご期待いたします。

